

2015年7月17日(金)

平成27年度農水省農山漁村活性化再生可能エネルギー事業化事業 研修会

合意形成の基礎

～「場・関係・人」づくりに向けて～

認定NPO法人 環境エネルギー政策研究所(ISEP) 客員研究員

株式会社 黒崎事務所 代表取締役

株式会社 地域計画建築研究所(ARPAK) 主席研究員

黒崎 晋司 (くろさき しんじ)

email: s-kurosaki@herb.ocn.ne.jp

Facebook: <https://ja-jp.facebook.com/shinji.kurosaki.3>



はじめに 困ってしまうケース【現場での経験から】

民間事業者

法律に即した営業活動という主張。

⇒住民の了解や地域還元は？

地元住民等

公益性や地域利益にもとづく主張。

⇒法律や計画との整合性は？

自治体

計画性や事業性等にもとづく主張。

⇒住民等の主体的な関与は？

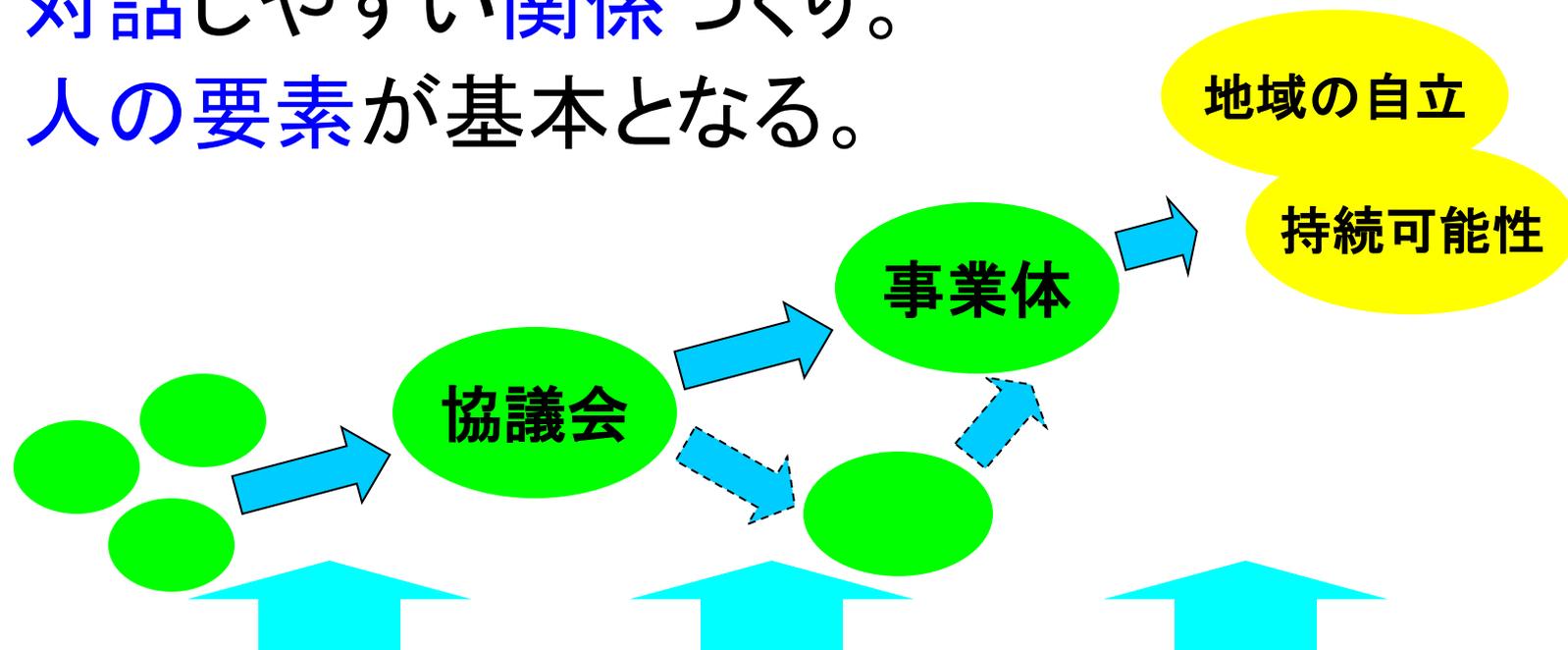
それぞれの立場からの主張

合意形成の失敗⇒事業化の頓挫

POINT① 話し合いや出会いの「場」をつくる 【場づくり】

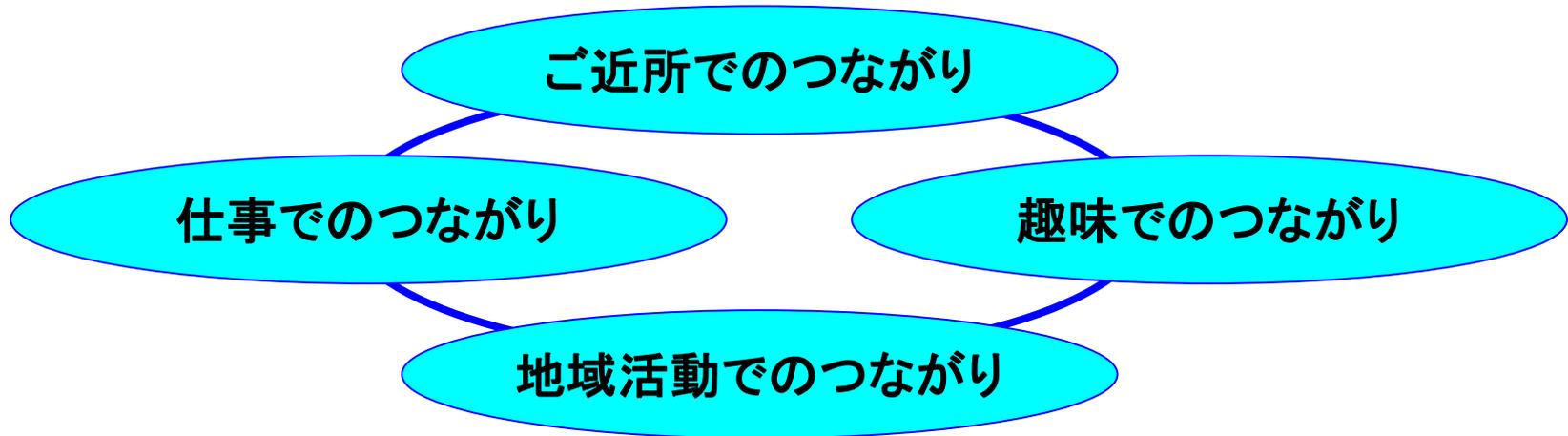
■「場」づくりで3つの大切なこと

1. **タイミング**をはかること。
2. **対話**しやすい**関係**づくり。
3. **人の要素**が基本となる。



「場づくり」⇒ 事業の実現性・効果の向上

■「地域」にお友達は何人いますか？



■ 関係性自体の質的向上を目指す

■ 全体最適・部分最適⇒適所最適

■ 地域に理解者を増やしましょう

■「事業主体」をどのように形成するか

「困った」

人材: チームを形成する人

人財: チームにとって宝物のような人

人在: チームのなかで存在感のある人

人罪: いわゆる「困ったちゃん」

■事業のプロセスに人材育成を内包させる

■リーダー待望論⇒フォロワーが育てる

■コミュニケーションを大切にする

立場

POSITION

立場を背負った意見

立場や面子からの態度表明 など

利害・関心

INTERESTS

背後にある考え・想い

そう考える理由・期待や懸念 など

立場レベル：「対話」や「合意形成」は難しい

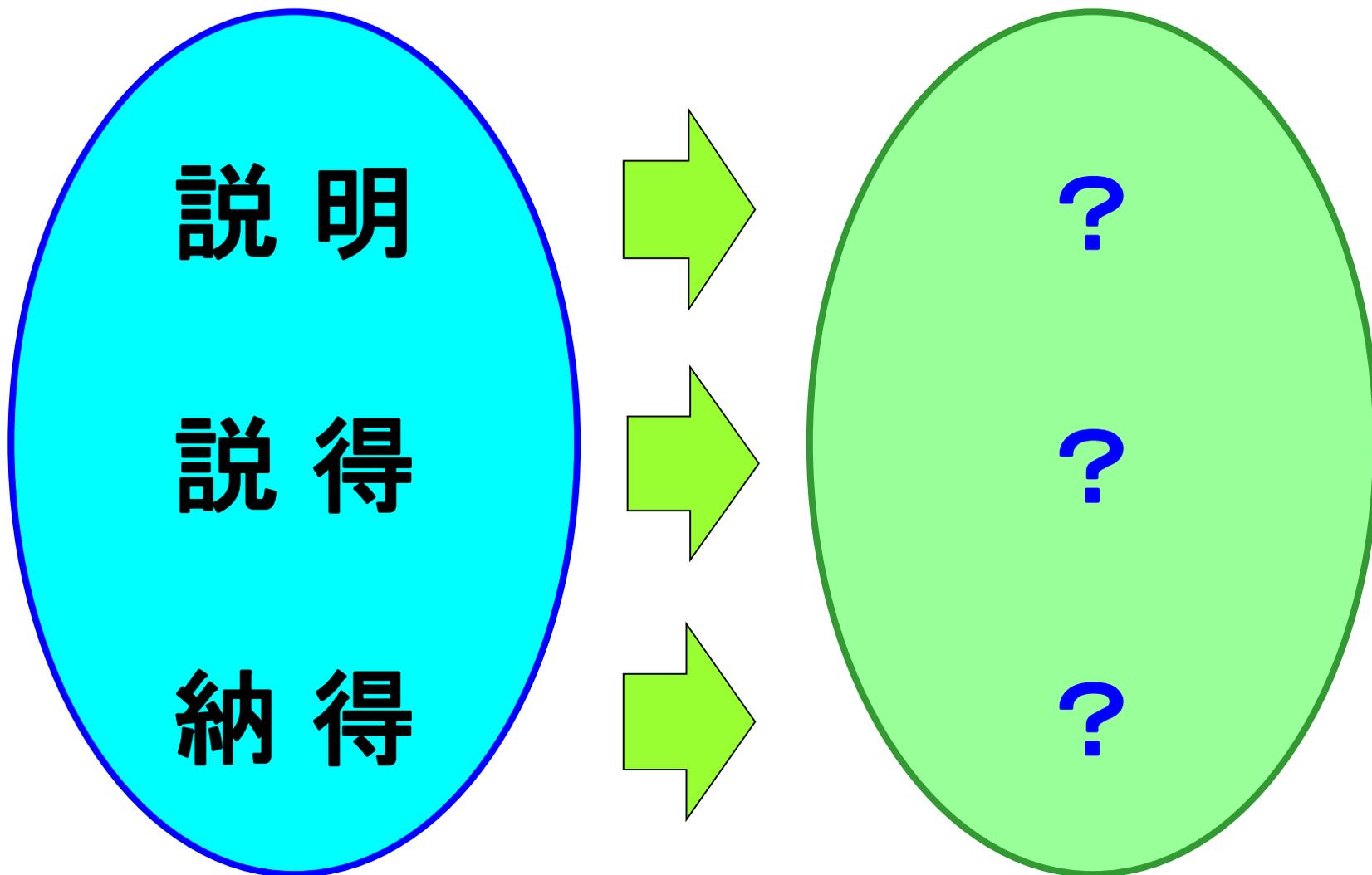
利害・関心レベル：「対話」や「合意」が生まれる

**言葉・論理
を聞く**

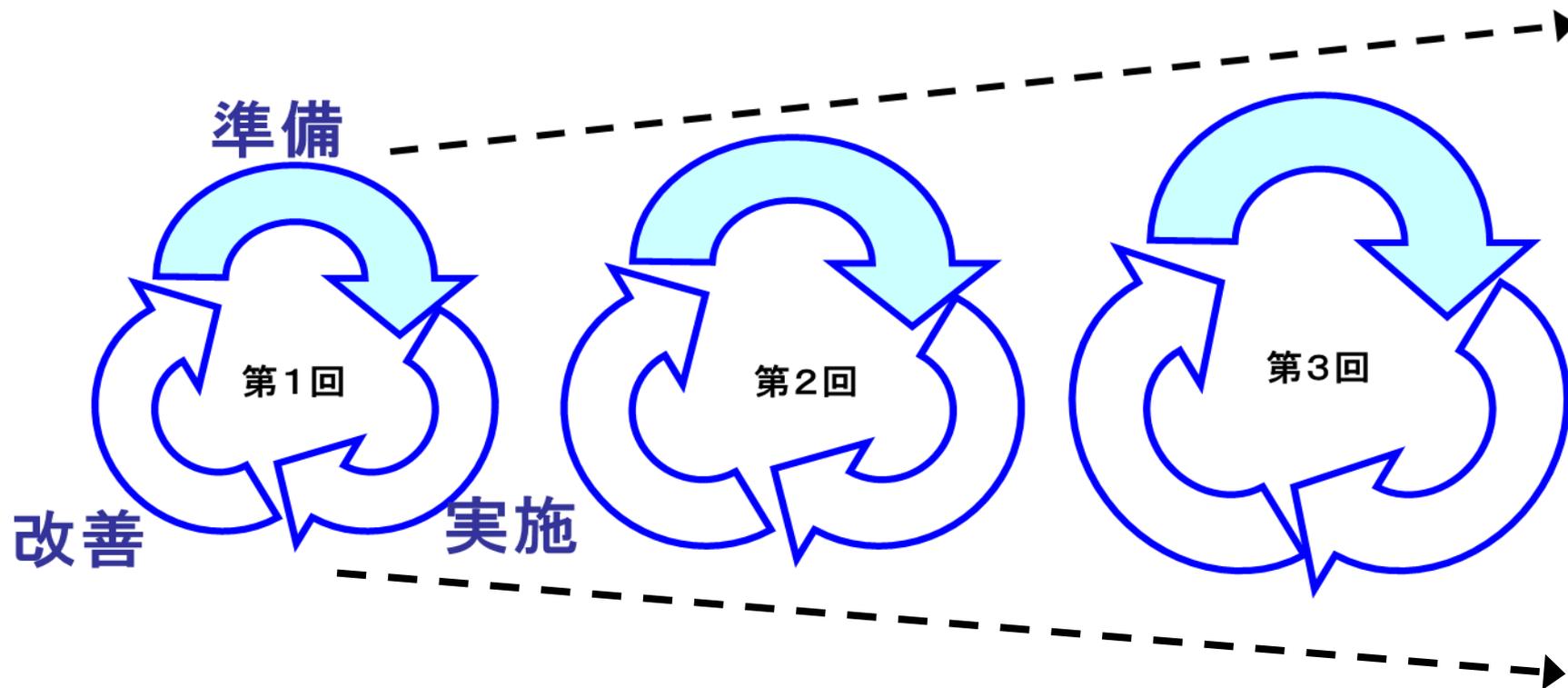


**想い・意味
を聴く**

補) ワンランクUPのコミュニケーションに向けて



補) ワンランクUPの「場」づくりに向けて



☆「場」づくりは、当日の運営だけではなく**準備**も大切。

☆「場」づくりは、回を重ねるごとに**発展・成長**していく。

☆「場」づくりは、段階的な全体の**プロセス設計**が大切。

本日のWSの目的

- 1 WSを体験することで地域のさまざまなステークホルダーを巻き込む「場」づくりのセンスや作法を身に付けましょう。
- 2 エネルギー種別に事業化段階ごとのステークホルダーと想定される合意形成の課題を抽出しましょう。
- 3 想定される合意形成の課題に対して、あらかじめ準備しておく事柄や対応策について検討しましょう。

本日の演習(WS)の進め方【120分】

1. イントロダクション (10分)

- 本日のWSの趣旨と進め方

2. グループ討議 ① (30分)・・・模造紙A

- テーマ：「ステークホルダー分析 入門編」
- 地域に潜在するステークホルダーを洗い出す。
- 洗い出したステークホルダーをグルーピング・分類する。
- 分類したステークホルダーごとにアプローチの手法を考える。

3. グループ討議 ② (45分)・・・模造紙B

- テーマ：「事業化段階ごとの合意形成 入門編」
- エネルギー種別ごとの事業化フロー図を参考にフロー図を作成する。
- 事業を立ち上げ事業化を進めるうえでの合意形成のハードルを洗い出す。
- 洗い出したハードル(課題)に対する対応策(アイデア)を出し合う。

5. 全体共有 (15分)

- グループ発表&質疑応答

6. チェックアウト (20分)

- ふりかえり

グループ討議の進行役、グループ発表も参加者のみなさんで体験してください。

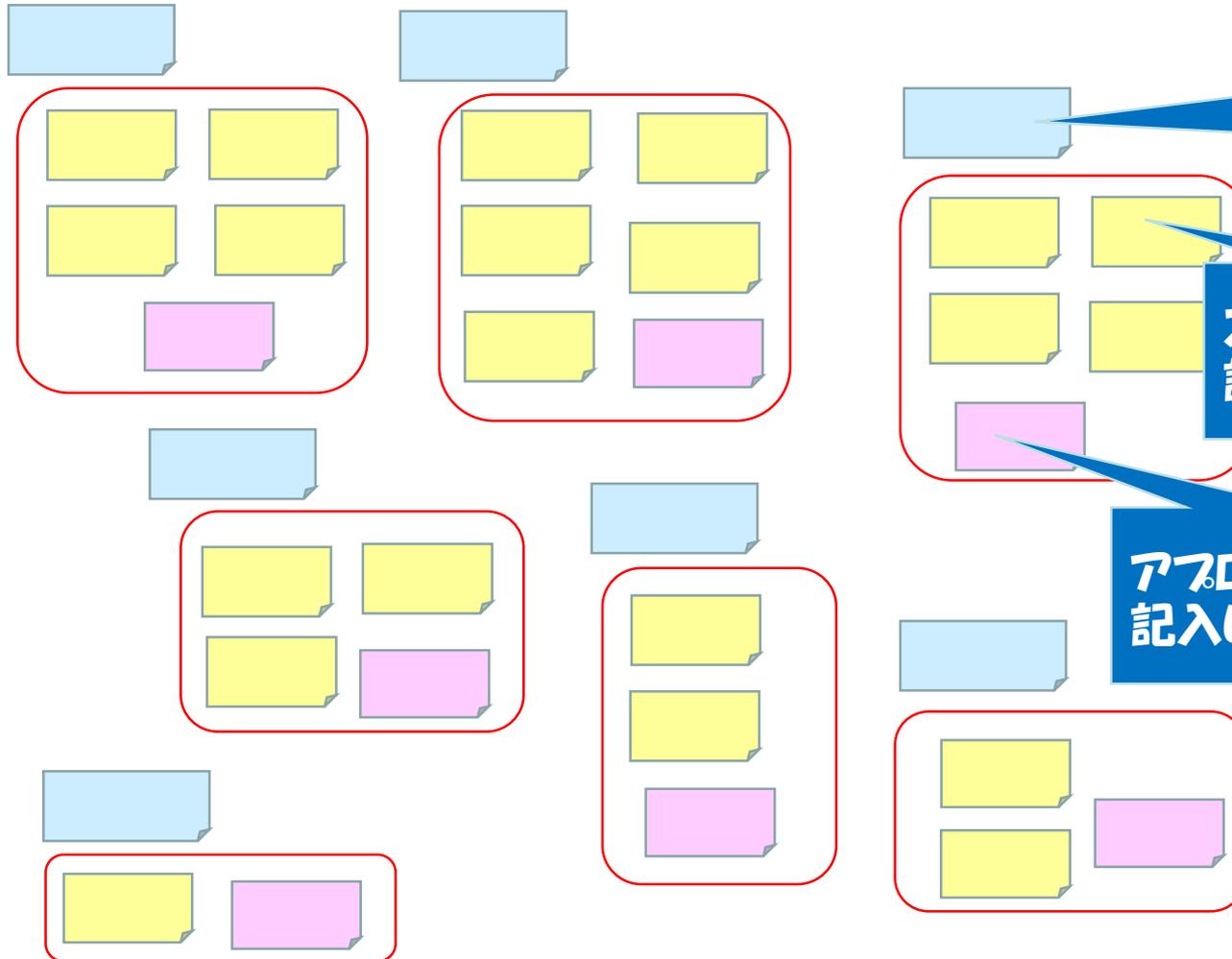
WSのグランドルール

1. 一人ひとりの「**想い**」を大切にしましょう。
2. お互いを尊重し合い「**さん付**」で呼び合しましょう。
3. 参加者全員で「**発言機会**」を提供しあい、より良い「**関係性**」をつくりましょう。
4. お互いの考えの「**違い・多様性**」から学び、新しい「**気づき**」を生み出しましょう。
5. いつもの主張・考えだけでなく議論のなかで「**感じたこと**」を大切にしましょう。
6. 意見を記録として残すために、意見は付箋「**書いて貼り出し**」しましょう。

グループ討議 ① 「ステークホルダー分析 入門編」 とりまとめイメージ 模造紙 A

■■グループ

参加者: ●●、●●、●●、●●、●●、●● H2015.7.17



番号を付けて、
分類した名称
を記入(青色)

ステークホルダーを
記入した付箋(黄色)

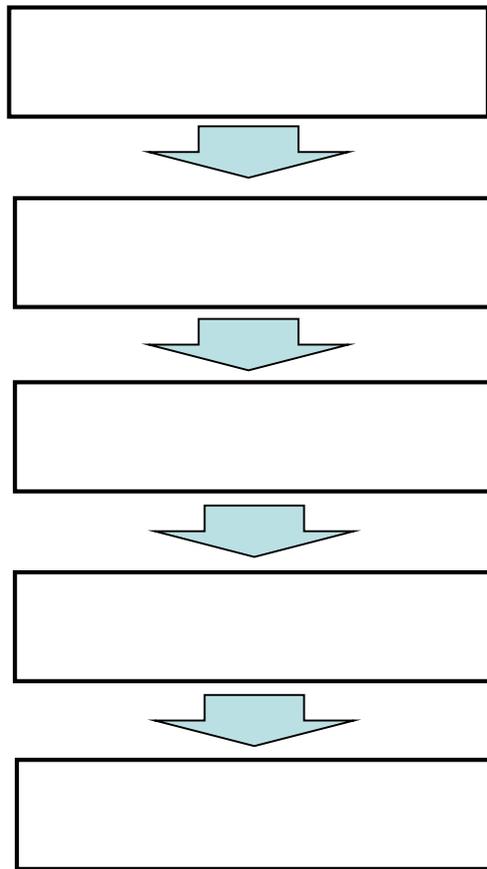
アプローチの方法を
記入した付箋(桃色)

グループ討議 ② 「事業化段階ごとの合意形成 入門編」 とりまとめイメージ 模造紙 B

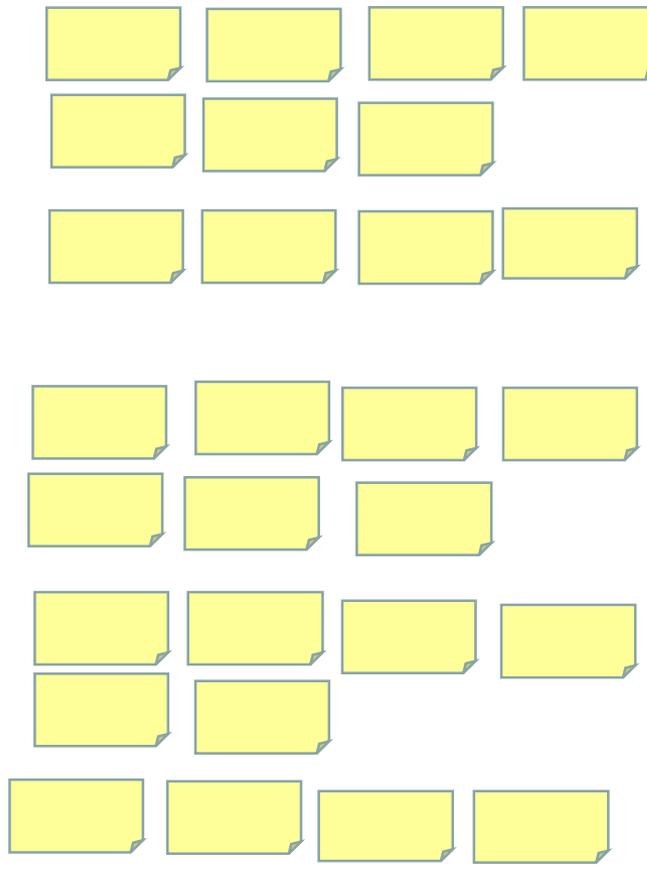
■■グループ

参加者: ●●、●●、●●、●●、●●、●● 2015.7.17

事業化段階
(フロー図参考)



合意形成の課題
(想定)



対応策
(アイデア)

